

1. 佐賀県障害者 IT サポートセンター運営事業

当事業は、社会との関わりに制約が多い障害のある人や難病患者のパソコン活用能力を向上させる事業を総合的、計画的に実施することで、障害者等の生活を豊かにし、社会参加の促進を目指すものです。

事業実施に当って、パソコン教室の企画・実施を行い、また障害者等への IT に関する相談業務や情報提供を総合的に行います。

設置場所	佐賀県佐賀市鍋島三丁目 3-20 鍋島シェストビル 1 階
開所日時	期間:平成 17 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 (開所日:日曜・祝祭日・年末年始・夏季閉所日) 時間:9 時 00 分～18 時 00 分(土曜 9 時 00 分～16 時 30 分)
電話等	電話/0952-36-6977 FAX/0952-36-6978 E-Mail/info@ykureyon.com HP/http://www.ykureyon.com

【公共交通機関】

佐賀市営バス

- ・佐賀駅バスセンター2 番乗り場より、㊦神野公園経由「佐賀大学医学部行き」 鍋島シェスト前バス停



2. 佐賀県障害者 IT サポートセンター相談状況

相談内容の一部

【平成 20 年度】

・パソコンの設定を変更してほしい。スクリーンリーダーを教えてほしい。パソコンを借りて医療事務を教えてほしい。など、視覚に障害のある方々からのお問い合わせ等が数件あり、派遣などでサポートできた例もあるが、対応できない事もあり、視覚障害者支援の必要性を感じていたが、3月に視覚障害者支援ボランティア養成講座を開催することができ、今後の活動に活かしていきたい。

【平成 22 年度】

・ダウン症の方の相談。言葉が不明瞭のためPCを使ってコミュニケーションできないかとの相談であったが、普段のコミュニケーションはパソコンをその都度立ち上げることは困難であるため、携帯用会話補助装置を紹介した。その際の補助については市の福祉課へ相談していただくよう伝えた。

・片麻痺でのパソコン操作について、支援機器の必要性を知りたいとの電話でのお問い合わせがあった。ゆめくれよんのこれまでのサポート実績の中では、同様の障害がある方でも支援機器を使用せずに操作をされていることから、お話しを伺った時点では支援機器の必要性はないと考えたが、ゆめくれよんに展示している支援機器を試して頂く事が可能であること伝えたと、2人で来所された。暫くパソコン操作や支援機器を使用して操作して頂いたところ、現在の片手操作で問題がない事がわかられ、安心された。今後もサポートセンター事業を利用して頂く事を伝えた。

【平成 23 年度】

・脳性まひの子供の母親が、意思伝達について良い支援方法はないかと、相談に来所された。後日学校へヒアリングに伺ったものの、入力可能な身体機能やご本人の理解度そのものが確定できず、ゆめくれよんでのサポートまで至らなかった。また、各所相談窓口からのお問い合わせの中に ALS 患者のパソコン利用についてのご相談もあったが、現段階ではゆめくれよんからの①身体機能の確認が困難 ②機器やソフトの貸し出し、指導者の問題で、一からの環境づくりをサポートすることは難しく、今後、周囲のサポート者と連携をとりながら、パソコン利用に向けての最良のアドバイスをを行う事ができるようにしたいと考えている。

【平成 24 年度】

・精神障害の受講生(10代)の母親から、かかりつけの医から子どもの状態について直接話を聞いて、注意事項を把握しておいてほしいとの希望があり、肥前療養所に注意点を聞き、こちらでの様子も伝えた。関係ボランティアにも伝え、サポートに生かしていただくようにした。

【平成 25 年度】

・今年度も各地の病院や保険所、役所、学校、家族、障害者就業・生活支援センター、ハローワークなどから問い合わせが相次いだ。今後も関連施設等に教室開催予定などをお知らせし、積極的に連携しながら活動に取り組みたい。

【平成 26 年度】

・県内各地の障害者に関わる各種団体から、今年度も多くのお問い合わせがあった。

佐賀市役所障害福祉課、鳥栖相談支援センター、小城市障害者支援センター、鹿島市障害者支援センター、ハローワーク佐賀、ハローワーク伊万里、ハローワーク鳥栖、唐津市役所、金立特別支援学校、聴覚障害者サポートセンター、ワーカーズ佐賀、河畔病院(唐津市)等

3. パソコンボランティア養成事業

障害のある方に IT のサポートをする「パソコンボランティア養成講座」を開催。

パソコンボランティアはパソコンボランティア養成講座を受講後、ボランティア登録をし、障害者 IT サポートセンターが実施する「障害のある方対象のパソコン教室」や「自宅または施設等での個人派遣」でサポートを行います。

年 度	主な取り組み内容	講座・内容等
平成 17 年～	方針:PC初心者を含めボランティアを養成 ・一般対象 ・県障害者 IT 訓練終了者へ呼びかけ ・県庁職員対象ボランティア養成講座開催 本庁にて終業後	・平日 4 日間コース 福祉・障害基礎知識、 パソコン基礎知識、 実演練習 etc.
平成 21 年	・一般対象 ・企業ボランティア養成講座開催 (NTT・富士通・電算センター・九州電力) ・視覚障害支援ボランティア養成講座開催 (佐賀・伊万里・鳥栖) ・県庁職員対象ボランティア養成講座開催 佐賀・唐津・武雄・鳥栖総合庁舎	・土曜・日曜2日間コース 福祉・障害基礎知識、 実演練習 etc. ・1 日コース・2 日コース 福祉・障害基礎知識 実演練習 etc. *企業の要望に応じた カリキュラムの設定
平成 22 年～	方針:PCの基本的な知識ある方をボランティアとして養成 ・一般対象 ・福祉施設関係への登録呼びかけ ・企業ボランティア養成講座開催 (NTT・NEC・九州電力) ・県庁職員対象ボランティア養成講座開催 本庁にて平日 1 日研修として	・平日 3 日コースに変更 福祉・障害基礎知識、 パソコン基礎知識、 実演練習 etc. ・土曜2日間コース 福祉・障害基礎知識、 実演練習 etc.
平成 25 年～	・一般対象 ・大学生対象ボランティア養成講座開催 西九州大学あすなろうセンター	・大学生土曜 1 日コース 福祉・障害基礎知識、 実演練習 etc.

4. パソコン教室事業

障害のある方(上肢・下肢・知的・聴覚・精神・視覚・難病・その他)がパソコン (IT)を学ぶことにより生活を豊かにすることや社会参加を目的とし、各地でパソコン教室を行います。

年 度	主な取り組み内容	講座・内容等
平成 17 年～	方針:パソコンの基本的な扱い方の習得 障害者手帳保持者のみならず加齢による障害など	・平日 5 日コース (PC基礎.ワード.エクセル.インターネット)
平成 19 年～	講習会場 公共施設や CSO 事務所内の他、新たに県所有施設での開催を開始 専門コース別や曜日別教室を開催 (デジカメ教室やワード月・水コースなど)	曜日別教室開始 ・PC基礎・ワード ・PC基礎エクセル(各 4 日)
平成 20 年	・専門コース別・曜日別教室開催継続 (ブログ・デジカメ教室) ・視覚障害者のための集団勉強会開始	*音声読み上げソフトコースの定期的な開催 (人数の申告せず)
平成 21 年	方針:スキルや興味などに応じた知識・技能の習得 障害者手帳保持者対象となる ・目的に応じて 3 コースまで受講可能 ・スキルカードを発行しコース終了後にスタンプを押す。 年度内であれば受講漏れなどを追加受講可能とする。 目的をもって計画的に受講することを目的とする。	コース選択 ・ワード基礎・ワードステップアップ(各 2 日) ・エクセル基礎・エクセルステップアップ(各 2 日) ・インターネット・デジカメ・ブログ(各 2 日)
平成 24 年～	*インターネット教室等で iPad 講習会の試験的な開催	コース選択 ・ワード基礎・ワードステップアップ(各 2 日) ・エクセル基礎・エクセルステップアップ(各 2 日) ・デジカメ/ブログ/インターネット(各 2 日)
平成 25 年～	*iPad 定着 *他の県関係施設での開催 ①佐賀星生学園 (情報処理時限で担当) ②ひとり親 ICT サポートセンター 共催 (字幕制作ソフトおこ助習得する訓練)	コース選択 ・ワード基礎・ワードステップアップ(各 2 日) ・エクセル基礎・エクセルステップアップ(各 2 日) ・デジカメ ・ブログ ・インターネット iPad(各 2 日)
平成 26 年～	*他の県関係施設での開催継続 ①ひとり親 ICT サポートセンター 共催 (字幕制作ソフトおこ助習得する訓練) ②聴覚障害者サポートセンター (年賀状作成)	※佐賀星生学園(ふくしの家業務として)

(1) 主な開催場所

地 区	主な開催施設名称
中 部	ゆめくれよん
	多久産業技術学院
	佐賀市役所諸富支所 談話室
	神埼市中央公民館
	吉野ヶ里公民館(三田川公民館)
	多久市社会福社会館 ホール
	神埼市千代田文化会館(はんぎーホール) 研修室 1
	神埼中央公民館 第3 研修室
	鳥栖総合庁舎
東 部	鳥栖市民活動センター 会議室 A
	サンメッセ鳥栖
	みやき町勤労青少年ホーム 講習室 B
	鳥栖まちづくり推進センター(鳥栖北公民館) 研修室
	唐津高齢者ふれあい会館(りふれ) 研修室
北 部	唐津市文化体育館 資料室 1 資料室 2
	相知交流文化センター 会議室 1
	伊万里総合庁舎
	伊万里橋公民館
西 部	伊万里まちなか一番館
	有田町 CSO サポートセンターべんじやら広場
	有田町生涯学習センター 南館1階会議室
	伊万里市民交流プラザ 小 中会議室
	鹿島あすとプラザ ホール 個室
	杵島農業改良普及センター
南 部	江北町役場 1階談話室
	武雄市役所 1階会議室 A B
	嬉野老人福祉センター パソコン室
	福富公民館(ゆうあい館) 研修室 3
	武雄市役所 山内支所 2階会議室

(2) パソコン教室事例 受講者の声

●精神障害 30代男性

対人恐怖症で長い間家からでられていないということで、お父様が付き添われてパソコン教室に参加。IT サポートセンターでご自分のパソコンやプリンターのセッティングの練習などを経験され、後半は一人でゆめくれよんまで通われた。

●聴覚障害 30代女性

手話通訳を通してゆめくれよんでのパソコン教室に参加された。
ショッピングセンターOPEN で就職(事務系)が決まったばかりで、パソコン貸出しを利用して Excel を中心に習得された。

●知的障害 30代男性

ゆめくれよんパソコン教室に参加したころは落ち着きや集中力が無く、インターネット検索やペイントを中心に楽しまれている様子だったが、その後パソコン貸出しを利用して、自宅で学習されたことが生活態度を見直すきっかけとなり、紹介した多久産業技術学院での総合実務科卒業後就職。

●視覚障害者 60代男性 【音声読み上げソフト使用による手記】

「ゆめくれよん」を私が知りえたのは平成18年の春、ほとんど独学のパソコンの操作に行き詰っていたときでした。視覚障害者でパソコンをする人は多いけれど教えてくれる人はなかなか見つからない。中途失明で障害者の先輩の少ないなかで独りですこしずつ手と耳で確認しながら前に進んでいた私にはフルキーを使ってテキ

パキと進められる教えには順応できないことでした。我儘にも、一つずつ知っていきたいと思うわたしがそこに居ました連絡してみると、すぐ都合の良い日を指定されました。頭の中に文書の保存操作方法と「お気に入り」の整理という目的がぐるぐる回っていました。

音声パソコンという道具は視覚障害者にとっては最良の使いよい文書伝達・保存の機会です。また、視覚障害者に必要な点字を覚えるためにも有効な道具だと思います。私でさえ、読むことは出来ない点字をパソコンの上で打つことはすぐに覚えられ、薦められるまま一ヶ月もせぬうちに点字図書館のパソコンで小文を作り、視覚障害者の文集に投稿出来ました。障害者の日常生活用具の給付を得てパソコンと周辺機器が私のもとへやってきました。次々に文章を作ったり子供たちとメールを楽しんだり彼らのブログを盗み見したりと楽しみましたが、最も勇気付けられたのはメールやブログを開くことによってした同じ視覚障害者をはじめとする障害者仲間らの奮闘ぶりでした。そう思う中でもっと詳しくパソコンの操作を知りたいと思うのですが、平易な指導でなければ到底私には難しいことです。「ゆめくれよん」のボランティアのお二人も易しい言葉で何回も同じことを聴く私に親切に手をとって教えてくださいました。また、わざわざ私の家まで来てUSBメモリーの差込口、その利用方法を教えてくださいました。パソコンもそれぞれに他とは違う所があるようですね。何枚もフロッピーデスクをお釈迦にした私にはUSBメモリーの存在は積み積み始めた私の川柳集をはじめとする老年勉強にとって、なくてはならない存在になっています。どこかにある情報も視覚障害者にとっては天空にある星と同じです。ほら、あそこに星が・・・と言われて手を添えていただき、ようやく私たちはその存在を知ることが出来るのです。六十歳までは、普通に(苦勞しながらも)仕事をやる事が出来たのはやはり情報を得る手段を持っていたからだと思います。そして人にも情報を与える喜びを共有出来ていたことを誇らしく思っています。眼の見えないままに忘れつつある漢字や言葉や知識は失くしたくない財産です。現在、歩くにもだんだん制限を感じ、更に生き得る年齢の淵にもかかる焦慮感の中でわたくしを持しえるものは自己の主張を言葉で伝ええる文言です。

言葉を後々に残せるusbに限らず、私は沢山のパソコン情報を(ゆめくれよん)から得ることが出来ました。また、ゆっくりと新しく学べるでしょう。

そして、善意の友情を「ゆめくれよん」から頂得ました。眼の悪い私でも、自分以外にも私を見ていてくれる川柳の仲間、詩吟の仲間、カラオケの仲間、障害者の仲間、かつての仕事仲間と沢山の輪の中にいる自分を実感したいのです。言葉を繋げる道具としてのパソコンは私達にとって今は欠かせない道具であり、このことを知らせ得る「ゆめくれよん」の仕事はより有意義にその存在を主張しえるものと考えます。

いつまでも私はパソコン音痴で居るでしょう。そしてそのことを振り返ることが出来る間は、言葉は、拙くとも善意のあなたに感謝いたします。

そして、この恩恵をより多くの障害者が知り、利用させていただくことを祈ります。

5. パソコンボランティア派遣事業

障害等により外出困難な方の自宅や施設へパソコンボランティアを派遣します。個人派遣では基本的にパソコンをお持ちの方対象であるが、場合により公共施設や CSO などパソコンのある場所で開催します。

年度	内容	サポート回数・内容
平成 17 年 (10 月 1 日) ~	方針:個人宅や施設での個別派遣 障害者手帳保持者のみならず加齢による障害など 施設内での個人派遣開始 施設内での団体派遣開始	・原則として派遣回数は 5 回まで *2 時間×5 回
平成 18 年	方針:ニーズに応じた支援 パソコン貸出開始(windows 2000) 施設内での個人派遣継続 施設内での団体派遣継続 ・精神障害者支援センター「ぷらっと」との共催開始 ・佐賀県立九千部学園寮での派遣教室開始	・原則として派遣回数は 5 回まで *2 時間×5 回
平成 19 年	施設内での個人派遣継続 施設内での団体派遣継続 ・佐賀県立希望の家での派遣 ・難病相談支援センターと共催開始 ・大町順天堂病院内個人派遣	・原則として派遣回数は 5 回まで *2 時間×5 回
平成 20 年度	施設内での個人派遣継続 施設内での団体派遣継続	・原則として派遣回数は 5 回まで *2 時間×5 回
平成 21 年	方針:スキルや興味などに応じた支援 障害者手帳保持者対象となる 点字図書館 施設内での個人派遣継続 施設内での団体派遣継続	施設経営者側の意識が変わったのか 作業(施設での仕事)に関わる支援としてのカリキュラムの要望が増えてきた。 ・原則として派遣回数は 5 回まで *2 時間×5 回
平成 22 年 ~ 平成 24 年	・視覚障害者スクリーンリーダー (音声読み上げソフト)コース (派遣サポートとして人数の申告始める)	・派遣回数は、原則 5 回までだが、状況に応じて、柔軟に対応(H22~) *2 時間×10 回
平成 25 年	*他の県関係施設での開催 ①佐賀星生学園 (情報処理時限で担当)	・派遣回数は、原則 5 回までだが、状況に応じて、柔軟に対応(H22~) *2 時間×10 回
平成 26 年	*他の県関係施設での開催 ・聴覚障害者サポートセンター	・派遣回数は、原則 5 回までだが、状況に応じて、柔軟に対応(H22~) *2 時間×10 回

※パソコンを所有していることが基本であるがセンターにパソコンの余裕がある場合、パソコンを所有していない方や障害者施設内での派遣等にはパソコンの貸し出しをします。

※施設など、受講者が複数の場合は、進行内容により教室形式で開催します。

(1) 主な派遣教室開催施設

地 区	主な派遣教室開催施設名称
中 部	まごころ授産所
	長光園
	佐賀ライトハウス六星館
	佐賀県立点字図書館
	佐賀整肢学園オークス
	はなの木(ケアホーム)
	佐賀県立地域生活リハビリセンター
	佐賀県聴覚障害者サポートセンター
	佐賀県難病相談支援センター
	佐賀県立金立特別支援学校
	佐賀市立城南中学校
	小城市立牛津中学校
	多久市立東部小学校
	知的障害者支援施設 めぐみ園
東 部	佐賀県立希望の家
	佐賀県立九千部学園
	コロニーみやき
	青葉園
	すえやす寮(グループホーム)
北 部	はまゆう作業所
	久里双水園
	太陽社
	フレンドハウス
西 部	瑠璃光苑
	あすなろの里
	楠風の里(グループホーム)
	小麦の家
	国見の里
南 部	いぶき村
	すずらん(旧 Team)
	ゆめランチ山内
	鹿陽会
	鹿島療育園

(2) パソコンボランティア派遣事例 受講者の声

●Aさん(女性) ALS(筋萎縮性側索硬化症)

施設に入所。ほとんど身体が動かない状態で寝たきりの生活。言葉も言われるが、なんとされているかほとんど聞き取れない。

派遣を受けられる前から、オペレートナビを入れたパソコン使用されていて、左手指先でボタンスイッチを操作。派遣ではwordやExcelを希望されすぐにマスターされた。

その後、インターネット接続を希望されたので、接続の支援をした。接続後、ゆめくれよんからメールやグリーティングカードを送ったところ、興味を持たれ、教えてほしいと再度派遣を希望された。

今まで施設から外出もできず、人とのふれあいもほとんどなかったが、インターネットで韓国ドラマを見られたりいろいろな情報もなかったのが、知り合いの方のパソコンや携帯に自分からメールやカードを送られたりすることで、笑顔が増えられたようだ。

●Oさん(女性) 脳性まひ 重度の身体障害、車椅子使用。

重度障害者小規模通所活動施設に週に数回通所。表情豊かでコミュニケーションはできるが、言葉は明瞭ではない。絵を描くのが得意で、パソコンを使って、ペイントを上手に使いこなされて素晴らしい絵を描かれていた。施設側としては、Bさんの絵を使って来年のカレンダー作成をして販売したいと希望され、派遣を希望された。

それまでは、絵を描くのにペイントだけを使われていたので、水彩が描けるフリーソフトの「ゆめいろの絵の具」を持っていき、使い方を教えたところ、ボランティア派遣の日だけでなく、自分でもペイントとゆめいろの絵の具をうまくミックスしたりしていろいろな絵を描かれたりして、すぐに上手に使いこなされ、更に素晴らしい絵を描かれるようになった。

施設の方の話では、施設に楽しんで来られるようになり、パソコンに向かって自分の納得のいくまで絵を描かれていらっしゃる。

●Cさん(男性) 脳障害による言語障害と体のまひ

車椅子で施設に通所されているが、毎日行われているレクリエーションなどの参加をされない。感情をむき出しにされたりするので、他の方とのコミュニケーションが難しい。時折よだれをたらされているのが見られる。

パソコンでもさせてみたいとの施設側の要望でパソコンを持参し、少しさわってもらったところ、もっとうちがみたいと関心を持たれたのでボランティア派遣を週1回施設で行なうことにした。夢中になるとよだれがたれるのも気づかれないので、2名のボランティアで対応することにした。派遣を数回していくうちに、派遣の日を楽しみにされ、施設の職員が声をかけなくても自分から歯磨きやトイレをすませたり、派遣時ボランティアにお茶を出すように気遣いを見せられたり、自分から進んで話しかけられたりして、施設の方が驚かれるほど自立度が上がられたらしい。

●Uさん 59歳 女性 ALS(筋萎縮性側索硬化症)

ゆめくれよんさんのパソコン指導のお誘いを受け、かねてからやってみたくと思っていた『インターネットなるもの』に勇気を出して挑戦することに。インターネットを接続したものの『何を』教われればよいのかわからないまま今日にいたっていますが、メールができるようになり、家族との連絡がとりやすくなった。

メールについては、グリーティングカードや自作のカードなども送れるようになり、連絡手段だけでなく心の交流もできるようになって嬉しい。また、イラストのダウンロードやエクセルやワープロなどの今まで分からなかった点も少しずつ解消され、施設活動の幅が広がったような気がします。

講師の方には迷惑をかけてばかりですが、感謝してます。

●Kさん 20代男性 高次脳機能障害・身体障害(脳腫瘍による下肢)

大学で、ほんの少しかじっていたのですが、県民だよりでゆめくれよんさんの事を知り「資格をとった方がいいよ」と両親の勧めでチャレンジしてみようと思いました。講習会場に自分で行く事ができないので諦めようかとゆめくれよんさんに相談した所「大丈夫家庭派遣できますから」何も心配しないでと力強い言葉をかけてもらい週に一度2時間の指導を受けました。エクセルは難しいと思ったのですが、ボランティアさんのわかりやすい説明でなんとかクリアする事ができわからない時など TEL して、いろいろお世話をかけました。

そのためにも試験に合格しないといけないという思いで頑張ったのですが一度目は不合格、自信があっただけにショックでした。もうイイと諦めかけたのですが両親に今度は大丈夫自信を持ってもう一度だけチャレンジしてみようと言われ、二度目で合格する事ができました。合格できたのは、周りのみなさんのサポートのお陰だと感謝しています。本当にありがとうございました。その後今年にはガス主任乙種化学の国家試験にも合格して今は医療事務の勉強をしています。

※個人受講者や受講施設などから送られた多数のお礼の手紙や作品、毎年送っていただく年賀状などその都度担当ボランティアに報告。

6. その他

(1) その他参加事業

年 度	名 称	内 容
平成 17 年	Microsoft (佐賀電算センター)	東京大学・e-at 促進協議会 ふくしの家主催
平成 19 年	鳥栖市福祉祭り (サンメッセ鳥栖)	パソコン体験教室開催 楽しくポストカード作成
	第 57 回ハイパーフォーラム 「佐賀県協働化テストとチャレンジド誰でもパソコン 10 か年戦略」 (大分ハイパーネットワーク研究所)	佐賀県 CIO 川島宏一氏講師 (ゆめくれよん職員 2 名・ふくしの家事務 局長・佐賀県障害福祉課担当者) CIO 講演の際の資料説明で参加
平成 20 年	総務省情報通信人材事業支援 ネットショップ運営管理導入講座 (シュストビル 2 階)	6 か月講座開催 SOHO での社会参加のための講座
平成 20 年	古川知事の「きっと・もっと・はっと」 県立「希望の家」にて	集団派遣の様子視察・意見交換
平成 22 年	Microsoft 講習会 UD 大会へ向けてのパソコンボランティア スキルアップ (Microsoft) 講座 (2 日間) (アバンセ 4 階)	Windows7・Office2010 新機能 旧バージョンとの相違点 アクセシビリティ機能 ボランティア発表
	ボランティア謝金の東日本大震災義援金寄付	
平成 23 年	障害者・難病患者等コミュニケーション 支援機器普及促進研修会 (ふれあい郷自育館)	佐賀県杵藤保健所より 支援機器等の展示依頼
	ボランティア向け 視覚障害者接遇の勉強会開催	九州盲導犬協会より 盲導犬来所
平成 24 年	ALS 患者等コミュニケーション 支援機器普及促進研修会 (佐賀県難病支援センター3 ホール)	佐賀県杵藤保健所より 支援機器等の展示依頼
	佐賀大学 ICT ワークショップ (佐賀大学)	佐賀大学井手正文准教授 ICT をゲームで体験・共有理解する パソコンの支援方法について講習会
	視覚障害者のパソコン体験教室開催	視覚連主催 パソコン体験学習の教室依頼
	聴覚障害者のタブレット体験教室開催	タブレット (iPad) 体験 ITBC ブラウザによる文字配信体験
平成 25 年	唐津浜玉町知的障害児の親の会来所	現場研修として当事業を視察された
平成 26 年	聴覚障害者サポートセンター 年賀状作成教室開催	聴覚障害者サポートセンター主催 年賀状作成教室依頼により 3 日間開催

(2) 職員研修等

※適宜パソコンボランティアへも広報

年 度	内 容	場 所
平成 17 年	大分 UP プロジェクト視察	大分
平成 18 年	パソコンボランティア指導者養成講座参加	福岡
平成 19 年	パソコンボランティア指導者養成講座参加	福岡
	福祉情報技術コーディネーター取得	福岡
平成 20 年	パソコンボランティア指導者養成講座参加	東京
平成 21 年	ATAC 京都	京都
平成 22 年	ATAC 京都	京都
	SAGA ドリームファクトリー2010	佐賀
	UD 大会	嬉野
平成 23 年	ATAC 京都	京都
平成 24 年	大分視察	大分
平成 26 年	iPad 研修 天神' (3 日)	福岡

(3) 受講者との意見交換

・平成21年度 受講者習得確認問題送付

受講者の習熟度確認のため確認問題を作成し、パソコン教室・パソコンボランティア派遣受講者へのパソコン習得の一区切りとした。

送付した解答用紙に記入後、返信してもらい添削、「終了証」や「努力賞」など同封し再度送付。

・平成24年度 受講者追跡アンケート実施

佐賀県より事業見直しとして、これまでの当事業の実績、効果等を把握する目的で、ある程度の解答が見込める受講者(基本無差別)100名へアンケート調査。方法:メール・電話・直接
当事業の成果が確認され以降の継続へと繋がっている。

7. 事業広報等

【テレビ・ラジオ】

年 度	名 称	内 容
平成 17 年	佐賀新聞 佐賀テレビカチカチワイド取材 情報クルーズ「佐賀」	「パソコン教室」Word カレンダー作成 (シェストビル 2 階)
平成 18 年	佐賀テレビカチカチワイド取材 情報クルーズ「佐賀」	「ボランティア派遣」 (鹿島市障害者施設・いっぽいっぽ)
平成 19 年	ラジオ【みんなの力で新しい佐賀を】出演	ゆめくれよん事業について スタッフ・県庁職員ボランティア 鹿島市在住ボランティア
平成 23 年	第 3 回 UD プラットホーム地域協議会	嬉野市和多屋別荘
平成 24 年	えびす FM 出演 ラジオカフェえびす	ゆめくれよん事業について スタッフ・県庁担当職員 伊万里市在住ボランティア
平成 25 年	「もっと知りたい！さがケンちゃんねる」 佐賀県広報動画	ゆめくれよん事業について

8. IT サポートセンター内展示 支援機器一覧

※現在製造していないものもあります。

※製品名・販売元・現在価格など詳しく表示していませんので、ご了承ください。

ハンディグリップ型 使えてマウス HG	ゴロ寝マウス Jr.TRACK2	指につける超小型 トラックボールマウス	ワイアレスペン型マウス
			
クッション付トラックボール エキスパートマウス	トラックボール オービットオプティカル	超小型・薄型マウス	モバイルトラックボール クリックボール
			

<p>ボタン型 らくらくマウスⅡ</p>	<p>ジョイスティック型 らくらくマウスⅡ</p>	<p>USB 接続タッチパッド</p>	<p>スイッチ</p>
			
<p>ピエゾニューマティック センサースイッチ</p>	<p>ポイントタッチスイッチ</p>	<p>携帯用会話補助装置 「ペチャラ」</p>	<p>簡易筆談器 「かきポンくん」</p>
			
<p>目にやさしいキーボード</p>	<p>曲げても濡れても OK シリコンキーボード</p>	<p>飛騨高山家具職人作 簡単キーボード</p>	<p>指マウス・使えてマウス</p>
			